

奄美海上保安部便り

巡視船「あまぎ」体験航海



「海の日」の7月16日(月)、名瀬港の周辺海域において巡視船「あまぎ」の体験航海を午前と午後の2回実施し、乗船を申し込み当選された281名の方々が約2時間の航海を楽しめました。(乗船者、午前:141名(大人85名・子供56名)、午後:140名(大人89名・子供51名))

体験航海に併せて巡視船「かいもん」及び巡視艇「いそなみ」による放水訓練、不審船捕捉訓練が披露され、当庁航空機による低空飛行も行われました。

当日は、真夏の太陽が照りつける厳しい天気でしたが、乗船者の皆様は、船上からの景色に目を奪われ、普段見ることが出来ない訓練の様子に暑さも忘れて歓声を上げていました。



乗船順番待ちで長蛇の列



「うみまる」もお出迎え



取材を受ける安尾保安部長



当庁航空機による低空飛行



訓練を披露した「かいもん」と「いそなみ」



放水訓練



不審船捕捉訓練



船艇乗組員によるパフォーマンス

奄美群島漁船セーフティラリー2018

奄美群島
漁船セーフティラリー
2018
7月1日～12月31日

私達は、
船舶の安全運転に
取り組めます！

奄美海上保安部・古仁屋海上保安署

協賛 (公財)海上保安協会奄美支部・(公財)海上保安協会瀬戸内支部
後援 奄美群島水産振興協会



安全運航宣言
～奄美群島漁船セーフティラリー～
私達は、船舶の安全運航に取り組み無事故を達成します
与論町漁業協同組合 殿

2017
無事故達成
認定証

貴組合は、上記の期間において無事故を達成されたことを認定します
奄美海上保安部長

協賛(公財)海上保安協会奄美支部

安全運航宣言の盾、無事故を達成した年にメダルを取り付けます
(2017年から実施しており、最短で2021年に5枚獲得となります)

奄美群島における漁船海難の撲滅を目指す「奄美群島漁船セーフティラリー2018」を、7月1日から12月31日までの6ヶ月間で実施しています。
このセーフティラリーには、奄美群島の全漁業協同組合(8漁協)が参加されており、各漁協、組合員の皆様が一丸となって期間中の無事故に取り組んでいます。
無事故を達成された漁協へは、認定書とメダルを贈呈する予定です。

第23回「海の日」記念式典開催



表彰を受けられた皆様



安尾保安部長挨拶



朝山奄美市長挨拶



7月17日(火)、第23回「海の日」式典が奄美市内のホテルで開催され、海事功労者として7名の方々が、第十管区海上保安本部長表彰、奄美海上保安部長表彰を受賞されました。

【第十管区海上保安本部長表彰】

- ・(公財)海上保安協会奄美支部幹事 高岡 秀規氏 (徳之島町長 永年功績)
- ・海上安全指導員 福島 英二氏 (自営業(福島神仏堂) 海難防止協力)

【奄美海上保安部長表彰】

- ・(公財)海上保安協会奄美支部幹事 川島 健勇氏 (喜界町長 永年功績)
- ・(公財)海上保安協会
奄美瀬戸内支部副支部長 元田 信有氏 (宇検村長 永年功績)
- ・(公財)海上保安協会
奄美支部副支部長 喜禎 康祐氏 (喜禎運送店社長 永年功績)
- ・(公財)海上保安協会
奄美瀬戸内支部会計幹事 徳重 敏幸氏 (大島石油古仁屋営業所長 永年功績)
- ・(NPO法人)コミュニティらじおさぼーた 重原 義和氏 (FMたつごう放送局長 海上保安業務協力)

海の事故ゼロキャンペーン



マリンフェスタにおける海上安全教室



奄美海洋展示館におけるパネル展



海上安全指導員との合同パトロール

7月16日(月)から31日(火)までの期間、海の事故ゼロキャンペーンに取り組みました。このキャンペーンは、海事関係者に限らず幅広く一般の皆様を対象としており、海難防止思想の普及及び高揚を図ることを目的に主に次の活動を実施しました。

- ・14日(土)、海上安全指導員と合同で名瀬港内及び周辺海域の安全パトロールを実施し、船舶運航者に対して、事故防止のリーフレットを配布し安全運航を呼び掛けました。
- ・15日(日)、少年自然の家が主催するマリンフェスタに参加し、来場者(親子)に対して、海で遊ぶ際の注意事項、ペットボトルを用いた浮力確保及び救助方法等について指導を行いました。
- ・22日(日)から31日(火)までの期間、奄美海洋展示館において事故防止に関連したパネル展を開催しました。(22日(日)は、「うみまる」も参加して安全啓発活動を実施しました)
- ・海難防止講習会、海上安全教室を実施し、事故の未然防止に取り組みました。

教職員を対象に救急救命講習会を開催



心臓マッサージの実習

8月1日(水)、奄美市名瀬の金久中学校で教職員25名を対象に救急救命講習会を開催しました。救命処置の手順を説明した後、マネキンを使って胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸を実習し、AED(自動体外式除細動器)の取扱い講習も実施しました。

参加者は、真剣な表情で積極的に対処方法の習得に取り組み、終了後に感想を聞くと、「緊急時は自分が先に動くという気持ちを持って実行したい。生徒達にも何かあったらすぐに呼びかけるよう促したい」と話されていました。

「あまぎ」精鋭メンバー舟こぎ競争参加!



奮闘する「あまぎ」精鋭メンバー

8月4日(土)、巡視船「あまぎ」精鋭メンバーが、第55回奄美まつりの舟こぎ競争に参加しました。地元の強豪チームがひしめく中で優勝を目指したその結果ですが、1回戦は見事に勝ち抜き、気合いを入れて臨んだ2回戦、息の合ったスタートで前半戦はトップ争いを繰り広げていましたが、勢い余ったか、折り返しのブイを回りきれない痛恨のミスにより敗退してしまいました。

残念な結果に終わってしまいましたが、改めてブイを回ってゴールする様子に、実況者から「負けが決まっても最後までルールを守るとは、さすが海上保安部！」と賞賛のアナウンスがありました。敗因は業務多忙による練習不足…イヤ! 言い訳はしない、来年の優勝を誓う一同でした。

レディセット ウェアइट



巡視船「あまぎ」乗組員



巡視船「かいもん」乗組員

8月11日(土)、巡視船「あまぎ」、「かいもん」乗組員が、救命胴衣を着用して写真撮影を行い、(公財)マリンスポーツ財団が中心となって実施しているWear Itプロジェクトの「レディセットウェア」キャンペーンに参加しました。

Wear Itプロジェクトとは、救命胴衣の必要性と常時着用を呼び掛ける国際的な活動で、キャンペーンは活動の一環として実施される24時間の救命胴衣着用人数の世界記録に挑戦するイベントです。

今年は4回実施されており、救命胴衣を着用した写真と署名した参加書を(公財)マリンスポーツ財団に送付することにより、着用人数の世界記録に参加することが出来ます。

同日は第4回の実施日で、地元の夏祭りに参加して一般の方々にも救命胴衣を着用して頂く予定でしたが、残念ながら台風の接近により中止となってしまいました。

この記事を読まれている皆様、救命胴衣着用の重要性は十分に認識されていると思いますが、改めて、この活動の趣旨に賛同して救命胴衣の常時着用をお願い致します！

夏季安全推進活動



海浜パトロール



安全講習会



海上安全指導員との合同パトロール

8月1日(水)から31日(金)までの期間、夏季安全推進活動に取り組みました。この活動は、マリンレジャー愛好者を対象に海難防止思想の普及及び高揚を図ることを目的としており、毎年マリンレジャーが盛んとなる8月に実施しています。

18日(土)には、笠利地区の海上安全指導員と合同で笠利湾内の安全パトロールを実施しました。参加したパトロール艇のうち3艇は機動性が良い水上バイクで、保安部の職員も同乗し、海上、海浜を回ってマリンレジャー愛好者に安全指導を行いました。

巡視船「かいもん」 自然災害対応



口之島に上陸する九州電力職員



噴煙を上げる口永良部島

8月24日(金)、台風19号により大きな被害を受けた十島村の災害復旧のため、巡視船「かいもん」により人員搬送を実施しました。

24日早朝に、鹿児島海上保安部所属の巡視船「さつま」が鹿児島港を出港して復旧に従事される方々(九州電力、NTT職員等)と資機材を中之島まで搬送し、口之島で対応される13名の方を「かいもん」が引き継いで搬送しました。

各島に到着後早期に停電、通信異常等の災害が復旧しており、巡視船の連係プレーによる効率的な搬送が功を奏しました。

また、当時は口永良部島の噴火警戒レベルが4(避難準備)に引き上げられており、「かいもん」は搬送業務終了後に同島の警戒業務を実施しました。

大規模災害合同訓練の実施



名瀬港での点呼の状況



「かいもん」に乗船する機動隊員

9月19日(水)、地震と津波発生を想定した大規模災害合同訓練を喜界島で実施しました。

訓練は、鹿児島県警察本部と第十管区海上保安本部が、今年3月に「鹿児島県における災害に際しての相互協力に関する覚書」を締結して初めて実施するもので、海保、警察、消防、県、町等から合わせて約70人が参加しました。

喜界島近海を震源とする震度6弱の地震が発生したと想定し、巡視船「かいもん」により、奄美警察署機動隊員18名を名瀬港から喜界島の湾港まで搬送し、到着後機動隊員が負傷者を救助して消防署員へ引き渡すまでの一連の対応について訓練しました。

覚書の締結により、より迅速な対応が可能となり、各機関との連携の強化が図れた有意義な訓練となりました。

奄美海上保安部からのお知らせ

笠利埼灯台一般公開

～ 150周年「灯台記念日」関連行事～



「笠利埼灯台」を11月3日(土・祝日)に一般の方々に公開します。
当日は、灯台内部の施設(灯器、蓄電池、螺旋階段など)見学が出来ます。
また、上部の踊場に出て雄大な景色を眺めることができ、施設内部では奄美群島の航路標識の紹介、海上保安庁の制服試着なども実施します。
奄美大島北端の笠利埼灯台から見る絶景を堪能し、灯台をはじめとした航路標識の重要性を理解し、更には灯台の歴史や文化的価値に触れ、海上保安業務に対する認識を深めていただきたく御案内いたします。

11月1日は灯台記念日です。

西洋技術を用いた灯台の建設は、神奈川県横須賀市の観音埼灯台に始まり、その工事の起工日は明治元年11月1日でした。

当時、灯台は文化の象徴、先駆けであり、我が国において近代灯台業務が開始された日として、文化の日の前で観音埼灯台の起工日である11月1日を「灯台記念日」と決めました。

今年の灯台記念日は、明治元年から数えて150周年を迎えます。



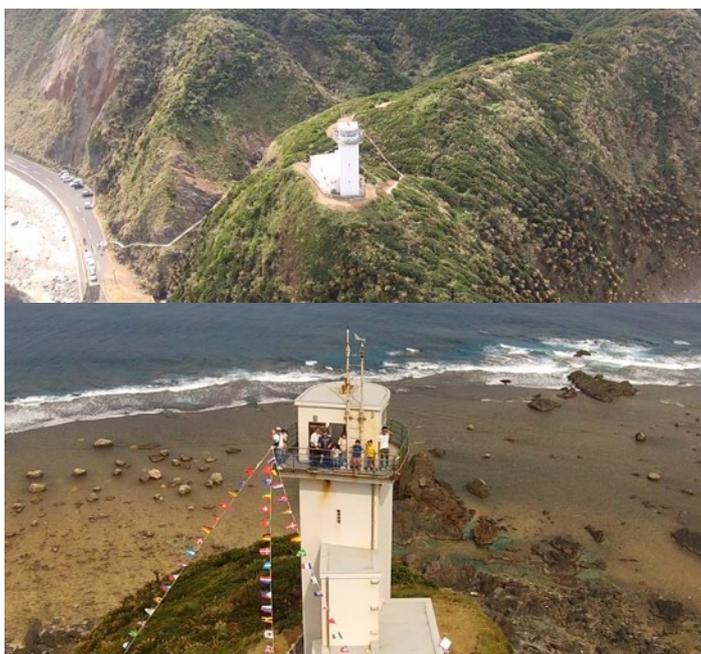
(一般公開)

日時：平成30年11月3日(土・祝日)

午前10時から午後3時まで(小雨決行)

場所：笠利埼灯台(奄美市笠利町)

内容：灯台内部施設見学、海上保安業務や奄美海上保安部管内の航路標識の紹介、制服試着等



海の事件・事故は118番



奄美海上保安部

〒894-0034 鹿児島県奄美市名瀬入舟町22番1号
TEL・FAX 0997-52-5811